

## ピアニスト

29歳、**務川 慧悟**さん  
(緒川新田)



### プロフィール

東京藝術大学在学中、日本音楽コンクールで優勝し本格的な演奏活動始める。パリ国立高等音楽院フォルテピアノ科在籍。クラシック音楽における世界三大コンクールの1つ、エリザベート王妃国際音楽コンクールで第3位入賞。

5月に名古屋で行われた演奏会では観客を魅了させた



© CBC / 木村一成

「一番好きな作曲家であるシヨパンはポーランドの田舎生まれ。シヨパンの曲に特に思い入れがある理由は、シヨパンと同じような田園風景がみられる東浦で育ったから。私の音楽の原点は東浦ですね」と話すのは日本を代表する若手ピアニスト、務川慧悟さん。「母の影響でピアノが身近にある環境で育ちました。中学3年生のとき、全国学生コンクールで優勝したことを機にピアニストになろうと決意しました」。

ピアニストになってよかったことを聞くと「お客さんには幸せになってほしい。でも、たとえば自分の演奏を聴いて暗い気持ちを抱いたとしても、感情を動かすことができたらよい演奏だと思っています」。

また、務川さんのピアノを一言で表す言葉を聞くと「目標としているのは『強さ』。音の大小ではなく、心の強さのような芯がある演奏。人間として

「年50回ほど行う演奏会の中で、心の底から満足できる演奏はほとんどない。でも、その中で3回くらい、思い残すことのない最高の演奏(瞬間)がある。演奏前は未だに緊張するし、人前で弾くのは怖いけれど、その瞬間を味わうためにピアノを続けています」と話す。

演奏するときにはどんなことを意識しているのか。「お客さんには幸せになってほしい。でも、たとえば自分の演奏を聴いて暗い気持ちを抱いたとしても、感情を動かすことができたらよい演奏だと思っています」。



「生演奏を聴いてほしいです。有名演奏家のCDを聴くより、有名ではない方の生演奏を聴いて感動することはよくあります。一度生で聴いて、好きかどうかを判断してみてください」とアドバイスを送る。

演奏会直前の練習。真剣な表情で曲と向き合う